第１７０回役員会・第７７回経営審議会　議事要録

日　時：２０２６年6月２９日（月）１４：００～１５：３０
会　場：北九州市立大学 北方キャンパス 本館　Ｅ－７０１会議室
出席者：津田理事長、柳井副理事長、白川理事、桝尾理事、中武理事、後藤理事、吉村理事、
　　井上委員、大石委員、久保委員、小林委員、野口委員、松永委員
オブザーバー：中野監事、福田監事、内田副学長、寺田副学長
欠席者：瓜生委員

議　案
　１　社会システム研究科博士前期課程東アジア専攻の廃止について
　２　前年度財務諸表、決算報告書及び事業報告書について
　３　新キャンパスの建設について
　４　情報イノベーション学部設置に係る届出について
　５　情報イノベーション学部の授業料等について
　６　国際環境工学部情報システム工学科の学生募集停止について
　７　大学機関別認証評価に係る受審先評価機関の検討について
　８　日の出グラウンド一部未利用地の返還納付について
　９　２０２６年度 学長選考会議委員の選出について

報　告
　１　経営系専門職大学院認証評価結果について
　２　中期計画における評価指標の進捗（２０２５年度）について
　３　公立大学ガバナンスコードへの本学の適合状況について
　４　（仮称）大学等連携プラットフォーム北九州への参画について
　５　２０２６年度入学者選抜試験の結果について
　６　２０２５年度広報活動報告及び２０２６年度広報計画について
　７　２０２５年度卒業生の就職状況について

議案１　社会システム研究科博士前期課程東アジア専攻の廃止について
＊　社会システム研究科博士前期課程東アジア専攻に在籍していた学生がいなくなったことから、同専攻を廃止することについて提案。

＜質疑応答＞　なし

【議長】提案のとおり承認してよろしいか。
【委員】異議なし。

議案２　前年度財務諸表、決算報告書及び事業報告書について
＊　北九州市長に提出する「２０２５年度事業に係る財務諸表（案)」、「決算報告書（案)」、「事業報告書（案)」について提案。

＜質疑応答＞

［副理事長］
　２０２５年度決算で目的積立金残高を積み増すことができた大きな要因として、北九州市から交付される標準運営費交付金の増額が挙げられる。設置団体である北九州市にも、コロナ後の業務増や人件費の増などの大学の事情をご理解いただいたものと考えている。一方、人件費は上昇しているが、旧カリキュラムから新カリキュラムへの移行時に非常勤講師を３割削減し、

その分相殺できた側面もある。本館４階以上の早期消灯など、管理費の削減にも取り組んでおり、経営改善の小さな積み重ねが実を結んできたと考えている。

［委員］
物価がどんどん値上がりする中でコストを上手くコントロールし、目的積立金を増額できたことは素晴らしい結果である。

【議長】提案のとおり承認してよろしいか。
【委員】異議なし。

議案３　新キャンパスの建設について
＊　新キャンパスついて、１階店舗部分に本学と旦過総合管理運営株式会社が共同で整備すべき新たな工事があることが判明したため、既に承認された従来の建設工事に追加することについて提案。

＜質疑応答＞　なし

【議長】提案のとおり承認してよろしいか。
【委員】異議なし。

議案４　情報イノベーション学部設置に係る届出について
＊　文部科学大臣へ情報イノベーション学部の設置届出を行うことについて提案。

＜質疑応答＞

［委員］
学長のリーダシップにより実現した計画だと思う。本学だけではなく日本全体にとって画期的な教育システムであり、他の大学を引っ張っていくような存在になるとよい。入試には地域推薦枠が設けられ、地域の学生が入学しやすく地元就職もより一層見込まれることから、出資団体である北九州市とのさらなる連携に期待したい。

［委員］
入学者選抜方法については学校推薦型と一般選抜型のみで、総合型選抜は今回導入しないのか。また、全国推薦は指定校になるのか、それとも公募型や自己推薦か。

［理事］
評価方法にSTELLAプログラムというものがある。STELLAプログラムでは国のJSTから補助を受けて高大接続の教育プログラムを実施しており、ある程度長期間高校生と接しながら、大学のラボにも入ってもらい教育を行っている。長期間生徒を見るという意味では、それが総合型選抜に相当し、１日の試験による選抜ではなく長期間見た上で評価できる。
全国推薦は指定校というわけではなく、幅広く全国の高校から推薦いただくという形になっている。

【議長】提案のとおり承認してよろしいか。
【委員】異議なし。

議案５　情報イノベーション学部の授業料等について
＊　２０２７年４月に開設する情報イノベーション学部の授業料ついて提案。

＜質疑応答＞　なし

【議長】提案のとおり承認してよろしいか。
【委員】異議なし。

議案６　国際環境工学部情報システム工学科の学生募集停止について
＊　情報イノベーション学部の新設に伴い、国際環境工学部情報システム工学科の学生募集停止について提案。

＜質疑応答＞　なし

【議長】提案のとおり承認してよろしいか。
【委員】異議なし。

議案７　大学機関別認証評価に係る受審先評価機関の検討について
＊　２０２８年度に受審が必要となる大学機関別認証評価の評価機関選定について提案。

＜質疑応答＞　なし

【議長】提案のとおり承認してよろしいか。
【委員】異議なし。

議案８　日の出グラウンド一部未利用地の返還納付について
＊　北九州市が本学法人化の際に出資した「日の出グラウンド関連用地」のうち一部未利用地を北九州市へ返還することについて提案。

＜質疑応答＞

［委員］
大学として利用予定がないのであれば市に返還して良いと思うが、地図を見ると返還予定地である東側の方が道路への接続の面から利用勝手が悪そうに見える。北九州市の既存の土地と合わせれば何か活用できるのかもしれない。返還するのであれば、当該地区の活性化や大学の振興に活用するべきであり、北九州市と協議しながら進めていただきたい。

［事務局］
北九州市もこの土地をどうするのか様々な協議をしていると聞いている。まちづくりという観点で土地をどう利用するかは非常に大切であり、委員ご指摘の点も含め北九州市と協議してまいりたい。

【議長】提案のとおり承認してよろしいか。
【委員】異議なし。

議案９　２０２６年度 学長選考会議委員の選出について
＊　２０２６年度学長選考会議委員について、委員１名の退任に伴い後任の委員を経営審議会から１名選出することを提案。

＜質疑応答＞

［理事長］
　経営審議会から選出される学長選考会議員は桝尾理事、井上委員、中本前事務局長の３名に委任していたところであるが、２０２６年3月３１日付で中本前事務局長が退任したことから、新たに１名の選出が必要となった。経営審議会から選出される３名の構成については、現在理事から１名、学外委員が１名、事務局長１名となっていることから、中本前事務局長の後任の吉村事務局長を学長選考会議委員として選出してよろしいか。

【議長】提案のとおり承認してよろしいか。
【委員】異議なし。

報告１　経営系専門職大学院認証評価結果について
＊　公益財団法人大学基準協会による大学院マネジメント研究科の認証評価結果について報告。

＜質疑応答＞　なし

報告２　中期計画における評価指標の進捗（２０２５年度）について
＊　中期計画における評価指標の２０２５（令和７）年度達成見込みについて、自己点検・評価を行ったことを報告。

＜質疑応答＞

［理事長］
　グローバルエデュケーションプログラムは数年前志願者数の増加にも繋がった素晴らしいプログラムだと思っていたが、Advancedコースの定員充足率が持続しないことについて要因は何かあるか。

［副学長］
　グローバルエデュケーションプログラムには Challenge コースと Advanced コースの２つがあり、Advancedコースは副専攻になる。英米学科以外の学生が登録できるが、今回改めて見直しを行ったところ、卒業要件に入らない授業を数多く履修しなければならないことやすべて英語で行われる授業を受けなければならないことなど、ハードルが高いと思われる面があった。そのため再度見直しを行い今後は登録者を増やしていくことを考えている。

報告３　公立大学ガバナンスコードへの本学の適合状況について
＊　公立大学協会が策定している「公立大学ガバナンスコード」への、本学の適合状況の確認結果について報告。

＜質疑応答＞　なし

報告４　（仮称）大学等連携プラットフォーム北九州への参画について
＊　５月に開催された北九州市主催の市内大学関係者勉強会において、西日本工業大学から私立６大学を中心とした「(仮称) 大学等連携プラットフォーム北九州」設立の説明があり、市内の大学等に参画の打診があったことについて報告。

＜質疑応答＞

［委員］
　大学等連携プラットフォームについては、学生募集の面において各大学が競合することから全国的にはあまり上手くいっていない。今回は私立大学改革総合支援事業の予算獲得のために行っているところが大きいと思うが、本来的には地域構想推進プラットフォームとして、大学だけでなく産・官・学・金で地域の人材育成について連携することが予算の目玉になっている。今後は北九州市の基幹産業を支える人材とエッセンシャルワーカーをどのように想定していくのか、それに対して大学がどのような人材育成をしていくのかがポイントになる。大学等連携プラットフォームに参加することは良いと思うが、状況を考えると北九州市立大学の役割としては地域構想推進プラットフォームの方を推進していくべきではないか。

［副理事長］
　本学は市立大学であるので北九州市の意向に沿わなければならないというところはあると思う。以前地元就職を伸ばすという目的で１０億円以上の補助を受けてCOC+事業を大学共同で行ったが、なかなか連携が取れず大変苦労した記憶がある。今回は既に行っている関門コンソーシアムという単位互換制度のプログラムを中心として供出する形で取組む予定である。

報告５　２０２６年度入学者選抜試験の結果について
＊　２０２６年度の一般選抜（前期・後期日程）の志願状況、入学者の男女構成や出身地域構成の状況について報告。

＜質疑応答＞　なし

報告６　２０２５年度広報活動報告及び２０２６年度広報計画について
＊　２０２５年度の広報活動実施状況について報告。
＊　２０２６年度の広報戦略概要及び広報計画について報告。

＜質疑応答＞

［委員］
　オープンキャンパスに高校生が多数来場して受験に繋がっており大変効果があると感じた。情報イノベーション学部が開設されることもあり、オープンキャンパスにおけるひびきのキャンパスと北方キャンパス間の協力や連携体制について、双方工夫している点があれば教えてほしい。

［事務局］
　オープンキャンパスはそれぞれのキャンパスで行っており、文系の北方キャンパスでは在学生が学内を案内するキャンパスツアーや、大学教員による模擬授業を実施している。理系のひびきのキャンパスでは更に実験等も体験することができ、それぞれのキャンパスの特徴を生かしたオープンキャンパスを行っている。

［理事］
　新学部のオープンキャンパスは、北方キャンパスとひびきのキャンパスの両方で開催している。模擬授業とプログラミング体験を実施し、参加者も多く盛況であった。

報告７　２０２５年度卒業生の就職状況について
＊　２０２５年度学部卒業生の就職率が９９．６％（対前年比＋０．１ポイント)、地元就職率が１９．３％（対前年比－０．７ポイント）であったこと等を報告。

＜質疑応答＞

［理事長］
　地元就職率向上に向けて頑張っていただきたい。

報告　不正アクセスによる個人情報漏洩の恐れについて（※次第書には記載なし）
＊　５月２５日に発生した本学事務職員が使用しているパソコンへの不正アクセスについて、漏洩した恐れのある個人情報について現在まで被害が確認されていないこと、情報セキュリティ対策の向上のため教職員への周知研修等を行っていることを報告。

＜質疑応答＞　なし